

西日本男子団体2部V



第21回西日本学生拳法選手権大会
4月23日 大阪市中央体育館

安堵の1部復帰

日本拳法部

昨年度、1回戦敗退に終わった西日本学生拳法選手権大会男子団体2部で、大商大が怒涛の快進撃を見せた。7対7での勝ち抜き戦となる今大会で、出場者4人という不利な状況にもかかわらず、現全日本学生個人チャンピオンの前田稔輝(経営3・大商大堺)が5人抜きを見せるなど、他を寄せ付けず、着々と決勝まで駒を進めた。迎えた四天王寺大学との決勝では、初戦から中堅の石川翔一朗(商3・大商大堺)が相手に負けない気迫で勝利をつかんだ。続く3回戦、副将戦では2戦連続で引き分けるなど息をのむ試合展開となり、いよいよ相手を3人残したところで、命運は大将の前田に託された。しかし、この前田が圧巻の強さで3人抜きを決め、見事、優勝と1部復帰を決めた。今大会で最優秀選手にも選ばれた前田は「うれしい。圧倒的な力で勝てるようになっていきたーい」と大きな成長を誓った。井尻丈士監督(大商大OB)も「運も実力。未熟な彼らではあるが、これからスタミナを付けチームプレーで頑張ってもらいたい」と期待を込めた。今年度、1年生を迎え部員数の増えた日本拳法部の次の団体戦ではよりいっそうチームプレーを磨いて挑んでいくと意気込みを語った。

文/和田千咲 (経営4・米子南)



MVP 前田



さらなる高みへ!

全日本学生3位 東野

第63回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会
4月28日~30日 はびきのコロッセオム

東野 凌大(公共経営2・徳島科学技術) 3位

- ◆合気道部**
- 「第37回関西学生合気道競技大会」
乱取競技男子団体戦 1回戦敗退
乱取競技男子個人戦 2回戦敗退 寺田 晃平(経営3)
演武競技男子対徒手の部 ベスト8 寺田 晃平(経営3)・井上 育歩(経済4)
演武競技男子対武器の部 予選敗退 鯛 航貴(経営3)・島山 直也(経済3)
- ◆アメリカンフットボール部**
- 「第63回西日本学生アメリカンフットボール大会(6人制)」
13-32
京都外国語大・大阪経済法科大・大商大vs帝塚山大
- ◆カヌー部**
- 「第47回大阪学生レーシングカヌー選手権大会」
男子K-1 500m SF-39位 秋山 裕哉(経営2)
男子JK-1 500m F-8位 宮脇 大河(経営2)
- ◆剣道部**
- 「第65回関西学生剣道選手権大会」
2回戦敗退 森嶋 充貴(経済2)
1回戦敗退 脇田 泰明(商2)
- 「第48回大阪学生剣道新人戦大会」
男子団体 1回戦敗退
- ◆硬式庭球部**
- 「関西学生春季テニストーナメント予選」
男子シングルス 1回戦敗退 宇谷 将(経済3)
女子シングルス 1回戦敗退 吉村 実久(公共経営3)

- ◆サッカー部**
- 「第46回関西学生サッカー選手権大会兼第41回総理大臣杯全日本大学サッカー選手権大会関西地区予選」
ベスト16
- ◆柔道部**
- 「第67回関西学生柔道優勝大会」
男子団体1部 B1-ナメント ベスト8
- ◆準硬式野球部**
- 「関西地区大学準硬式野球トーナメント大会(一次トーナメント)」
Bブロック 1回戦敗退
- ◆少林寺拳法部**
- 「第55回少林寺拳法関西学生大会」
単独演武段外の部 予選1コート15位 逸崎 勇太(商2)
自由組演武白・緑帯の部 予選1コート7位 山川 諒(経済2)・喜多 亮月(経済2)

- ◆水上競技部**
- 「第5回関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会」
男子50m自由形 予選19位 近藤 将平(科目等履修生)
男子50m自由形 予選32位 岩本 凌一(経済2)
男子100m平泳ぎ 予選72位 岩本 凌一(経済2)
- ◆ソフトテニス部**
- 「関西学生ソフトテニス選手権大会兼第72回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会予選会」
男子の部
5回戦敗退 三崎 聖矢(公共経営2)・坂本 幸翼(経済3)
男子の部 2回戦敗退
「西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会」
男子の部
「西日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会」
男子の部
ベスト8 坂本 幸翼(経済3)
2回戦敗退 小笹 景太郎(経済3)

- ◆卓球部**
- 「第86回関西学生卓球選手権大会」
男子ダブルス
3回戦敗退 幸松 宏敏(経済4)・丸山 翔也(商4)
3回戦敗退 齋藤 旺(商4)・濱岡 正直(経済4)
3回戦敗退 金谷 凌(商3)・小代 朝日(商1)
- ◆バスケットボール部**
- 「第44回関西学生バスケットボール選手権大会」
ベスト16
「男子第67回西日本学生バスケットボール選手権大会」
4回戦敗退
- ◆ボクシング部**
- 「大阪府民体育大会兼第72回国民体育大会大阪府選考会」
成年男子バンタム級 (優勝) 池側 純(公共経営2)
成年男子ライト級 ベスト4 梶見 陽(公共経営2)

- ◆ライフル射撃部**
- 「第64回春季全関西学生ライフル射撃選手権大会」
50m3×40M 10位 辰巳 侑輝(公共経営4)
- 「第72回国民体育大会京都府代表2次予選会」
10mS60M (優勝) 辰巳 侑輝(公共経営4)
- ◆陸上競技部**
- 「第65回大阪学生陸上競技対校選手権大会」
男子砲丸投 決勝15位 山本 周一(経営3)
- 「第94回関西学生陸上競技対校選手権大会(トラック&フィールドの部)」
男子2部走幅跳 決勝23位 大河 晃基(経済3)
- 「秩父宮賜杯第70回西日本学生陸上競技対校選手権大会」
女子100H 予選2組5位 今村 未佳(商2)
- ▶全結果は大商大課外活動WEBページ
「課外活動ニュース&イベント」をチェック!
<http://ouc.daiichodai.ac.jp/club/news>

- 「第21回西日本学生拳法選手権大会」
男子団体2部 優勝 前田 稔輝(経営3・大商大堺)
2部最優秀選手
- 「第18回西日本学生拳法個人選手権大会」
男子式段の部 ベスト8 石川 翔一朗(商3・大商大堺)
- 「日本拳法第30回全国大学選抜選手権大会」
男子団体 ベスト8

ウエイトリフティング部

全日本、西日本いずれも新人戦王者に輝いた、東野凌大(公共経営2・徳島科学技術)が、4月に全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会において3位入賞を果たした。スナッチでは1本目の挑戦で98kgを挙げる事に成功する。その後、勝負に出た東野は自己ベストとなる103kgを申告する。しかし、完璧に挙げて抑える事ができず、惜しくも2本連続失敗に終わってしまう。

続くクリーン&ジャー

「優勝を狙っていたが、集中力が足りなかった。詰めめが甘さが出てしまっ後悔が残った」と東野は悔しさをあらわにした。だが、「自分自身の課題も見つかり、次こそは断トツでの優勝を目指す」と力強く語ってくれた。今後も上を目指し、さらなる高みへ登り詰めるだろう。

文/野山新一 (公共経営2・城東工科)

空手道部

個人戦はチーム一丸で戦う団体戦と違い、己の力と技を目的の相手だけに注ぐ真剣勝負。大商大では学内での選考会を経て出場選手が決まる。関西学生空手道個人選手権大会の男子

組手+75kg級に出場した古市海人(公共経営4・吹田東)が、素早い動きと鋭い技で相手を翻弄し、3位入賞の成績を残した。準決勝では惜しくも敗れてしまったが、大商大から出場選手権の出場機会を得たのは1年前だった。しかしながら、1回戦敗退と涙をのみ、最終学年である

溝口誠(公共経営3・東大阪大柏原)の2選手を抑えての表彰台となった。

部内でも層の厚いこの階級で古市が関西個人選手権の出場機会を得たのは1年前だった。しかしながら、飾れるか。

文/大村直之 (経営4・明石南)



古市

第51回関西学生空手道個人選手権大会
4月29日 兵庫県立総合体育館

男子組手+75kg級 3位 古市 海人(公共経営4・吹田東)
男子組手+75kg級 ベスト8 溝口 誠(公共経営3・東大阪大柏原)

「第55回西日本大学空手道選手権大会」
男子団体組手 ベスト8

「第61回全日本学生空手道選手権大会」
男子個人組手 2回戦敗退 古市 海人(公共経営4・吹田東)
男子個人組手 1回戦敗退 市本 寛(公共経営4・おかやま山陽)

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校

1部昇格圏内



第95回関西学生サッカーリーグ(前期)
4月16日~6月4日 大商大第1グラウンド他

2部Aリーグ前期

4位

<5勝2敗2分>

サッカー部

第95回関西学生サッカー2部Aリーグ前期、第3節で強敵・同志社大学から金星を挙げた大商大は、そこから5連勝を飾り8位から2位まで急浮上した。

そして迎えた最終節、ホームで行われた甲南大学との一戦は激しい戦いになった。前半27分に右サイドから相手の守備を崩し、シュートを決めて、欲しかった先制点を奪った。前半を1-0で折り返した大商大だったが、後半突入直後、同点ゴールを許してしまふ。その後、何度か相手ゴールに迫るも両者譲らず、1-1の引き分けに終わった。

大事な一戦で勝ち切れず、前期リーグは4位に踏みとどまった。「チームとしての」しんどい時間が多く、どうやって落ち着かせようかとずっと考えていた。後半もなんとか最後までみんなで頑張った」と下川陽太(経営4・国見)は振り返った。J2松本山雅FCでプレーし、JFA・Jリーグ特別指定選手として二足のわらじでリーグ戦に挑んでいる下川は、後期の目標を「一部昇格、後輩たちに残せるものはこれしかない。今は良い位置にいるので絶対に決めた」と語った。

前期は4位と1部との入替戦出場圏内

ボクシング部

熱き戦いの始まりをゴングの音が告げた。関西学生ボクシングリーグ戦1部、リングに上がる前、主将・樋口龍誓(公共経営4・興國)は「今年こそは優勝したい。欲しいのは1位だけ」と闘志を燃やしていた。大商大は初戦、同志社大学に勝利を収めると、続く関西学院大学にも危なげなく勝利した。

そして近畿大学戦、

にいたが、後期の結果次第では自動昇格の可能性も十分にあり。ぜひとも1部昇格を成し遂げてほしい。文/山口達也 (公共経営1・作陽)

両者無敗で迎えた山場だったが、宿敵・近畿大に1-8と敗北を喫してしまふ。その後、3連覇を狙う声屋大学を相手にバンナム級の池側純(公共経営2・興國)がKO勝ちなどで善戦するも、3-6で敗れてしまふ優勝争いから離脱した。それでも最終戦、関西大学戦では1戦目から猛攻を仕掛け、大商大ベースでの試合運びとし、圧倒的な強さで勝利した。

残念ながら、近畿大戦と声屋大戦での敗戦が響き、結果は2年続けての3位となった。来年度こそは、立ち上がるこの壁をそのグロブで打ち砕け! 文/吉田穂高 (経営4・大商大)

頂への視界晴れず

打点王 坪久田 和也(経営3・神港学園)
盗塁王 坂本 諒太(商4・倉敷商業)



阪神六大学準硬式野球連盟春季リーグ戦
3月1日~4月28日 久宝寺緑地公園野球場他

春季リーグ戦 3位

<7勝3敗2分>

準硬式野球部

阪神六大学準硬式野球連盟春季リーグ戦、昨季の雪辱を果たすべく戦った。しかし、またしても紫紺の優勝旗へ手は届かなかった。

昨秋はサヨナラ負けで優勝を逃すという悔しさを味わい、今春こそ

そはと主将・坂本諒太(商4・倉敷商業)を中心に3季ぶりの優勝、そして全国の舞台を目指した。坂本は主に2番ショートとして攻守ともに存在感を示し、個人で盗塁王を獲得するなど、つなぎ役としてチームを牽引した。

次季の新チームよ

り主将を坂本から受け継ぐ坪久田和也(経営3・神港学園)も、打線の柱となり、打点王を獲得するなど、力強いバッティングを見せた。だが、下位チームから勝ち点を取りこぼした事がたり、結果は3位に終わった。

文/大村直之 (経営4・明石南)

第71回関西学生ボクシングリーグ戦
5月7日~6月25日 声屋大福山記念館新館他

リーグ戦1部 3位

<3勝2敗>

階級賞(バンナム級)
池側 純(公共経営2・興國)

立ちちはだかる壁



関西学生ソフトテニス春季リーグ戦
5月3日~4日 マリンテニスパーク北村

男子2部 準V

春季リーグ戦(4勝1敗)

ソフトテニス部

関西学生ソフトテニス春季リーグ戦男子2部、大商大は関西大学に敗れ優勝を逃した。2日間で全5試合をこなすハードスケジュールの中、初戦を落としたものの、くじけず、第3試合目の桃山学院大学戦ではフルセット勝利を果たし、進化した姿を見せた。一方、優勝した関西大は全勝で入替戦も制し、1部昇格を決めた。昨秋リーグ5位から健闘したが、悔しい準優勝。秋こそは1部昇格に期待したい。

文/金城南美 (経営3・那覇商業)

卓球部

関西学生卓球春季リーグ戦男子2部で下位に沈んだ大商大。初戦の神戸大学に敗れたことが低迷の原因となったが、最終戦の大阪経済大学にはストリート勝ちし、4位にとどまった。秋は勝てる試合でしっかり勝ち切るチームへ。

文/金城南美

関西学生卓球春季リーグ戦
5月1日~7日 いきいきランド交野他

春季リーグ戦(2勝3敗) 男子2部 4位

春季リーグ戦(0勝10敗) 男子部 8位

第56回関西学生ボウリング春季リーグ戦
4月16日~6月4日 ステーションボウル新田他

春季リーグ戦結果

- 硬式野球部は、1面掲載
- バレーボール部は、4面掲載

剣道部



主将: 大井宙(経済4 登美ヶ丘)

キャプテン 大商大 一押し主将ズ 文/大崎恒太郎(公共経営1・大商大堺)

今回は部員増加で挑戦の場を広げ、より活気があふれているクラブの主将お二人にお話を伺いました。

▼1年生が入部して、部内の雰囲気は? 大井: 部員が2人のときもあったので、今は人数が増えて練習での声出しがいきいきとしています。

▼特に力を入れている練習は? 大井: 体力作りとして、練習の最後に欠かさず行っている「フィナーレ」という一息での打ち込み練習です。

▼満を持して団体戦にも出場できるようになった心境は? 大井: 大商大剣道部として、大学の名前を背負って戦えるということが、とてもうれしいです。また、団体戦ならではの戦略を練ってメンバーを決めたりするところも楽しいですね。

▼主将として苦労していることは? 大井: 4年生が自分一人しかいないので、部のことを全てしないといけないで大変です。

▼今後の練習に力を入れています。 大井: 今までは人数が少なく、5人で戦う大会に3・4人で出場したりと、不利な状況での試合も多くありました。これからは万全の状態での戦えるので、徐々に成績を伸ばしたいと思います。

▼決めるのも苦労します。 大井: 就職の仕事が大変なのはもちろんですが、合宿などのイベントを決めるのも苦労します。

ボウリング部



主将: 岑吉拓巳(経営3・北陸)

▼ための練習に力を入れています。 岑吉: 今の練習は、個人戦でも勝つことが、とてもうれしいです。また、団体戦ならではの戦略を練ってメンバーを決めたりするところも楽しいですね。

▼主将として苦労していることは? 岑吉: 4年生が自分一人しかいないので、部のことを全てしないといけないで大変です。

▼今後の練習に力を入れています。 岑吉: 今までは人数が少なく、5人で戦う大会に3・4人で出場したりと、不利な状況での試合も多くありました。これからは万全の状態での戦えるので、徐々に成績を伸ばしたいと思います。

▼決めるのも苦労します。 岑吉: 就職の仕事が大変なのはもちろんですが、合宿などのイベントを決めるのも苦労します。

*文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校



悲願の

14季ぶり59度目

優勝

不動の大黒柱

4酒井

春季リーグ戦

<Bブロック3勝2敗・上位リーグ4勝1敗>

星取表(1部2次上位リーグ)

Table with 12 columns: Rank, Team, Osaka Univ, Kansai Univ, Keio Univ, Aichi Univ, Tokai Univ, Points, Wins, Losses, Win Rate, Sets Won, Sets Lost, Set Ratio.

バレーボール部 1次Bブロック2位で11季ぶりに上位進出を決めた大商大は、2次上位リーグで昨秋王者・近畿大に勝ち星を挙げ...

快進撃 昨秋、男子1部リーグ9位だった大商大バレーボール部が一転、関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦で14季ぶり59回目の優勝という快挙を成し遂げた。当初の目標は上位リーグに行くこと。結果に驚いている。

と、副将・中野将太(経営4・大商大)は控え目に語ったが、努力を怠ってはいなかった。練習後にも地道に自主練習を重ね、今リーグ戦で見事、セッター賞に輝いたのだ。

そして、この快進撃を支えたのは鹿兒島での強化合宿だった。試合で勝つための初めての試みだ。体力、筋力アップ中心のメニューで体を鍛え上げるという基礎的な練習が実を結んだ。さらに、勝利へのチームの意識も高まっていた。

大金星

そして、上位リーグ最大の山場となったのが近畿大学との一戦。昨秋のリーグ覇者であり、1次Aブロックを全勝した強敵である。しかし、大商大も負けるわけにはいかない。他チームが新体制に移行する中、大商大は昨年度とほぼ変わらないメンバーで試合に挑めた。

バレーボールは、ボールに触ることが出来る一瞬でコントロールし、仲間につなげる、チーム力が試されるスポーツだ。今春の大商大には完成されたチームの結束力の強さがあった。第1セットは、20-25で惜し

くも落したものの、誰一人諦めていなかった。バレーボールは、ボールに触ることが出来る一瞬でコントロールし、仲間につなげる、チーム力が試されるスポーツだ。今春の大商大には完成されたチームの結束力の強さがあった。第1セットは、20-25で惜し

大を圧倒している姿に会場中が沸き上がった。第4セットも25-22で勝利し、セットカウント3-1で大金星を挙げた。この勝利は、自信をつけた大商大は、この後もより集中して優勝を目指すことになる。

どの最終戦を迎えた。ストリート勝ちすると優勝が決まる。一番で、選手も控えメンバーにも緊張が高まっていた。京都産業大から2セットを連取するも、追いつられセットカウントをタイに持ち込まれてしま

兵頭兄弟

兵頭郁弥(経営3・松山工業)と兵頭佳樹(経営2・松山工業)は、今リーグ戦で飛躍的な進化を見せた。アタック決定率がチーム内トップである2人は、近畿大戦で爆発的な攻撃力を見せつけ、チームの勝利に貢献した。これからの大商大バレーボール部を担う両兄弟に注目していきたい。

2 佳樹



1 郁弥



「関西大学バレーボール連盟男子春季リーグ戦」1部 優勝(14季ぶり59回目) 最優秀監督賞 酒井 淳(監督・大商大OB) 最優秀選手賞 酒井 鴻(経営4・大商大) セッター賞 中野 将太(経営4・大商大)

「第43回西日本バレーボール大学男子選手権大会」決勝トーナメント戦 ベスト16

SHODAI SPORTS 商大スポーツ logo and contact information for Osaka University of Commerce.

古豪復活へ

上位リーグ唯一、関西学院大に敗れていた大商大は、京都産業大学と近畿大の結果次第となった。

折る気持ちで見守る中、近畿大が勝利し、勝ち点で勝った大商大が優勝を手にした。優勝はとてうれしかったが、ぎりぎりまで勝ったので複雑な気持ちがある。酒井と中野の両選手は話したが、大商大バレーボール部の古豪復活へ期待が高まる。

文/金城南美 (経営3・那覇商業)

苦勞人セッター 7中野



関西大学バレーボール連盟男子春季リーグ戦 4月15日~5月21日 近畿大 記念会館他

我楽多

今号から商大スポーツに変わりました。分からないことばかりでしたが、先輩たちに支えられ、記事を完成させることができました。インタビューは同じ質問を何度もしてしまったり、課題もたくさん見つかりました。先輩の良いところを吸収して、広報部員として即戦力になれるよう頑張ります。(大崎)

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校